

事後評価調書

I 事業概要																																																								
事業名	農業農村整備事業（地盤沈下対策事業）																																																							
地区名	中島地区																																																							
事業箇所	稲沢市																																																							
事業のあらまし	<p>本地区は、濃尾平野の中央に位置し、稲沢市のほぼ全域を事業計画区域とする都市近郊の農村地域である。</p> <p>本地区では、昭和30年代後半からの急激な地盤沈下の進行により排水路勾配の逆転や水路の中だるみ等が発生し、通水能力不足により豪雨時には度々農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下した地区内の幹線排水路を改修整備することにより、地区の排水機能を回復し、農業経営と民生の安定を図ることを目的に、昭和57年度から地盤沈下対策事業中島地区を実施し、平成20年度に完了した。</p>																																																							
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>排水路を整備することで、地区の排水機能を回復し、農地、農業用施設及び公共施設等の湛水被害を防止する。</p> <p>（基準雨量 336.0mm/3日、1/20年確率雨量）</p>																																																							
事業費	事業費		内訳																																																					
	40億円	■工事費 31億円、 ■用補費 4億円、 ■その他 5億円																																																						
事業期間	採択年度	昭和57年度	着工年度	昭和57年度	完成年度	平成20年度																																																		
事業内容	排水路工 8路線 L=9,463m																																																							
II 評価																																																								
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業完了からの5年間では、最大272.0mm/3日の雨量を平成20年8月28日から30日に観測した。この間、一時的な湛水は生じたものの、農地や農業用施設、公共施設等の被害は発生していない。</p> <p>降雨実績 (気象庁名古屋地方気象台 一宮観測所 気象データ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>5か年平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間降水量</td> <td>1732.5mm</td> <td>1781.0mm</td> <td>2149.5mm</td> <td>1710.0mm</td> <td>1739.5mm</td> <td>1822.5mm</td> </tr> <tr> <td>最大日降水量</td> <td>173.0mm</td> <td>78.5mm</td> <td>94.0mm</td> <td>97.5mm</td> <td>129.5mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>最大1時間降水量</td> <td>120.0mm</td> <td>55.0mm</td> <td>39.0mm</td> <td>62.0mm</td> <td>69.5mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>降雨日</td> <td>105日</td> <td>106日</td> <td>114日</td> <td>97日</td> <td>103日</td> <td>105日</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成20年8月28日～30日にかけての「平成20年8月末豪雨」では総降水量272.0mm(3日間)、最大1時間降水量120.0mmを記録した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H20「8月末豪雨」</th> <th>8月28日</th> <th>8月29日</th> <th>8月30日</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日降水量</td> <td>173.0mm</td> <td>67.0mm</td> <td>32.0mm</td> <td>272.0mm</td> </tr> <tr> <td>時間最大降水量</td> <td>120.0mm</td> <td>43.0mm</td> <td>7.0mm</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>計画(336.0mm/3日)未満の雨量に対する実績ではあるが、排水路を改修整備した効果が発現し、湛水被害が防止されていることから、本事業は地域の農業経営と民生の安定に寄与していると評価できる。</p>					区分	H20	H21	H22	H23	H24	5か年平均	年間降水量	1732.5mm	1781.0mm	2149.5mm	1710.0mm	1739.5mm	1822.5mm	最大日降水量	173.0mm	78.5mm	94.0mm	97.5mm	129.5mm	-	最大1時間降水量	120.0mm	55.0mm	39.0mm	62.0mm	69.5mm	-	降雨日	105日	106日	114日	97日	103日	105日	H20「8月末豪雨」	8月28日	8月29日	8月30日	計	日降水量	173.0mm	67.0mm	32.0mm	272.0mm	時間最大降水量	120.0mm	43.0mm	7.0mm	
	区分	H20	H21	H22	H23	H24	5か年平均																																																	
年間降水量	1732.5mm	1781.0mm	2149.5mm	1710.0mm	1739.5mm	1822.5mm																																																		
最大日降水量	173.0mm	78.5mm	94.0mm	97.5mm	129.5mm	-																																																		
最大1時間降水量	120.0mm	55.0mm	39.0mm	62.0mm	69.5mm	-																																																		
降雨日	105日	106日	114日	97日	103日	105日																																																		
H20「8月末豪雨」	8月28日	8月29日	8月30日	計																																																				
日降水量	173.0mm	67.0mm	32.0mm	272.0mm																																																				
時間最大降水量	120.0mm	43.0mm	7.0mm																																																					
2) 副次目標の達成状況	該当なし。																																																							

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

		前回評価時 (H16)	実績	備考
事業期間		S. 57~H. 18 (25年間)	S. 57~H. 20 (27年間)	
事業費 (億円)	工事費	30	31	
	用地補償費	4	4	
	その他	4	5	
	合計	38	40	
効果の 算定要因	・災害防止効果			
	被害面積	944.0 ha	944.0 ha	
	農地面積	368.7 ha	338.0 ha	
	作付面積 (水田)	251.0 ha	230.9 ha	
	作付面積 (畑)	117.7 ha	107.1 ha	
	宅地等面積	575.3 ha	606.0 ha	
	住宅	290 戸	408 戸	
	工場	38 棟	53 棟	

【事業期間に対する評価】

排水路の改修にあたり、民家等の隣接区間の施工において、関係者との調整に時間を要したため、事業工期を延長した。

【事業費に対する評価】

民家等の隣接区間の施工について、仮設工法等を一部見直した（仮設土留矢板の追加等）ことにより工事費等が増大したが、これは、水路改修を円滑に進めるために行ったもので、事業効果発現のために必要であった。

【効果の算定要因に対する評価】

本地区は水稻栽培、露地野菜を主体とした都市近郊の農業地域である。前回評価時 (H16) と比較して、本地区の農地面積は約 8%減少しており、農業効果については減少が見込まれる。一方で、宅地等の面積は約 5%増加しており、農業以外の面で本事業の重要性は増していると判断できる。排水路の整備により湛水被害が解消され、効果算定の要因である降雨による湛水被害防止に対しては、計画どおり効果発現していると評価できる。

本事業は、既設排水路を改修整備したものであり、工事施工にあたっては低振動、低騒音の作業機械を使用するなど、周辺環境に配慮したため、自然環境や生活環境へのマイナスの影響はない。

Ⅲ 対応方針（案）	
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	本地区では、民家等隣接区間の工事において、地元調整に時間を要したため工期を延長した。今後は、特に集落周辺の工事を伴うものについては、事業進捗に支障を来さないよう、計画段階から地元説明等を十分に行う必要がある。
Ⅳ 事業評価監視委員会の意見	
中島地区の対応方針（案）〔改善措置等の必要なし〕を了承する。	
Ⅴ 対応方針	
改善措置等の必要なし	